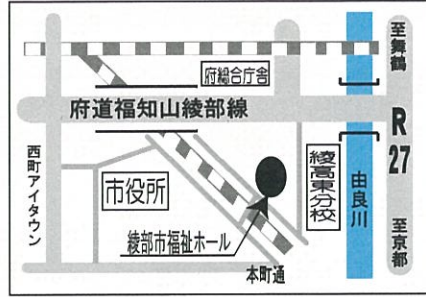


あやべの社協



編集発行/社会福祉法人綾部市社会福祉協議会 綾部市川糸町南古屋敷5-1綾部市福祉ホール内 TEL (43) 2881 FAX (43) 2882



サロン広楽を立ち上げて、今年で各スタッフのお蔭で6年目を迎える事が出来ました。設立の目的は、各々全員が主体となり、地域で暮らしておられる高齢者・虚弱高齢者の自立支援に向けた諸活動や、会員の親睦を図り、お互いの絆を深め、コミュニケーションを円滑にし、出来る福祉の風土づくりを目指す活動を支援し、地域福祉を図る事です。

誰もが参加できる共生型サロンで

サロン広楽

発足 平成24年9月
 会員 25名
 会場 広小路二丁目(牧井宅)
 連絡先 梶村隆三

運営をしていき、誰もが気楽に来てもらって、楽しく話し、楽しい時間を過ごして頂いて、老若男女の絆を深め、一人でも多くの方が楽しく参加してもらえる会にしていきたいと思っております。今月も来て良かった、次回も参加したいと思っ頂けるサロン広楽にしていきたいとスタッフ一同毎回おもてなしの心で喜んで頑張っております。

《毎月市内のサロン活動を紹介していきます》

善意の寄託

たくさんのご寄付ありがとうございます。

みなさんから寄せられた善意は、社会福祉事業に活用させていただきます。(敬称略)

(平成30年1月1日~2月28日)

- 大槻博司(京都市) 50,000円
- 一市民 5,000円
- 天衣京都あやべ俳句会、天衣京都あやべ四季俳句会 使用済み切手390g
- 北原建設(株) 使用済み切手450g
- 松寿苑 使用済み切手190g
- 綾部市立病院訪問看護ステーション 使用済み切手80g
- 一市民 百人一首、囲碁セット
- 一市民 米30kg
- 澤田和子(中筋町) 使用済み切手26g
- 京都府中丹東土木事務所 使用済み切手375g
- 一市民 タオル、紙おむつ他
- 青木謙整(桜ヶ丘2丁目) 座布団、机、パイプ椅子、カーペット他
- ◆一市民 食材(3件)
- ◆八田地区民生児童委員協議会 タオル、バスタオル等
- ◆一市民 毛糸
- ◆一市民 ティッシュカバー
- ◆一市民 ウェス
- ◆一市民 日めくりカレンダー
- ◆一市民 ダーツゲーム
- 一市民 食材
- 一市民 ストール
- 高倉由美子(西坂町) 紙おむつ他
- 井田夏枝(物部町) 食材
- 一市民 紙おむつ他
- 梅原幸江(金河内町) ちぎり絵
- 岡本カズミ(白道路町) 色鉛筆

●綾部市社会福祉協議会に ◆社協の家つどいに ■社協の家なごみに

毎回好評
 いただいでい
 る「ひとが、
 まちが、元気
 になるエッセ
 イ」は、百回を突破しました。
 平成13年から善意でご協
 力いただいている塩見直紀様
 には紙面をお借りし深く感
 謝申し上げます。

春のバス旅行のお知らせ

ふるさと高齢者と高齢者家庭連絡員の相互の交流を目的に開催します



ポイントその1
 ●快適な椅子テーブル席!
 ポイントその2
 ●旅情彩る神戸の旅!
 ポイントその3
 ●年に1度の交流会!

参加の申し込みは、
 地域の民生児童委員まで
 《参加費》(交通費、食料代、保険料込)
 ●ふるさと高齢者、民生児童委員(お一人) 9,000円
 ●一般参加(お一人) 12,000円

●とき:平成30年4月13日(金)
 ●行き先:寿楼 臨水亭(神戸市須磨区)
 TEL 078-731-4351

問:ふるさと綾部の老人を守る会(綾部市社会福祉協議会内) 電話:0773-43-2881 FAX:0773-43-2882

ふるさと綾部の老人を守る会とは、老親と離れて暮らす子どもが会員となり、民生委員(高齢者家庭連絡員)が見守りや専門窓口とのパイプ役となり、綾部(暮らし)を暮らしを支える活動を進めていきます。只今新規会員を募集しています。詳細はお問合せください。



元気になるエッセイ

「この国の行く末を憂い、何をどうすればいいのだろうか。東北の民俗研究家・結城登美雄さんはそんなことを考えるとき、岩手県の小さな村(当時5戸18名)が考えた「バツタリ村憲章」がバイブル(指針、拠り所)になっていくそうなんです。そこには以下のようなしびれるメッセージがあるのですが、今回はあえて、空欄にしていますので、考えてみてください。

「この村は与えられた(1)を生かし、この地に住むことに(2)を持ち/ひとり(3)何かをつくり(4)の後を追いつめず(5)の生活文化を(6)の創造し/集落の(7)と(8)の(9)を高めようとする村である」

精神で(9)を高めようとする村である。過疎、高齢化等でこれからどうしたものかと考えると、心細くなっています。とても心細いので、言葉が必要になり、村人がいまから30年ほど前に考えられたものだそうです。その後、この集落は注目を集めるようになり、生きざまがつかいいた、若者がたくさん訪れるようになり、筆者が担当する福知山公立大学の授業でこのことを紹介すると、学生は同じように感じてくれるのです。世の中、捨てたものではないなと思えます。

※空欄の答え①自然立地②誇り③一芸④都会⑤独自⑥伝統⑦共同⑧和⑨生活

塩見直紀(半農半X研究所代表)

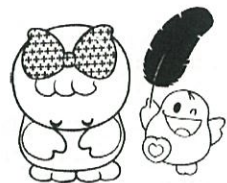
ご意見・ご感想をお聞かせください。



じぶんの町を 良くするしくみ。 赤い羽根共同募金

期間 10月1日から12月31日

赤い羽根 検索 www.akaihane.or.jp
◎助成の対象は 都道府県によって異なります。くわしくはこちらから→



区分	金額(円)
戸別募金	4,140,895
法人募金	457,500
職域募金	401,090
イベント募金	4,638
街頭募金	28,729
窓口募金	70,882
その他の募金	34,388
合計	5,138,122

募金総額 5,138,122円

10月1日から取り組んできました平成29年度「赤い羽根共同募金」が終了しました。今回も、市民の皆さまや事業所の皆さま方のご理解とご協力により、多額の募金をお寄せいただきました。

「赤い羽根共同募金」は、平成30年度に社会福祉協議会や福祉施設等に配分され、高齢者や障がい者の地域での暮らしの支援や子どもの健全育成、災害準備金などの活動に活用されます。

歳末たすけあい募金収支結果

【収入の部】

区分	金額(円)
自治会による募金	3,333,847
窓口篤志者	776,454
預金利子	4
合計	4,110,305

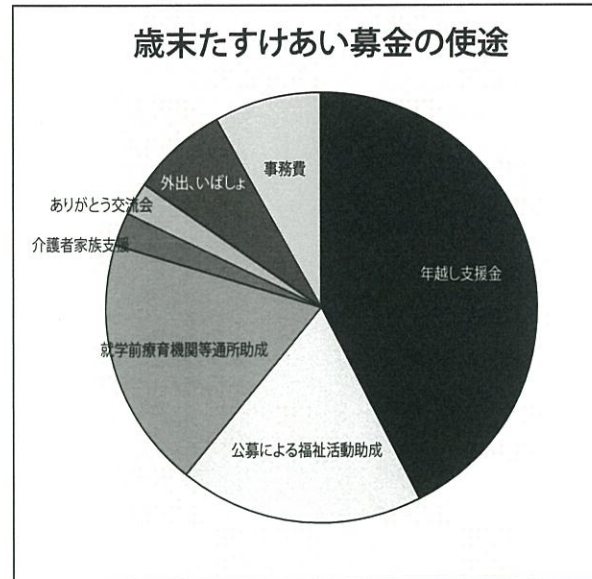
【支出の部】

区分	団体世帯数	金額(円)
支援を必要とする世帯への配分	182	1,456,000
被災世帯(水害)	14	140,000
公募による福祉活動助成事業	40	736,476
就学前児童療育通所助成	32	770,000
作業所通所者支援	4	40,000
権利擁護事業利用者の集い		35,000
介護者家族支援事業		105,000
ありがとう交流会		100,000
困窮者緊急生活サポート事業		145,000
高齢者外出支援、いばしょづくり等		254,829
事務費		328,000
合計		4,110,305

つながりささえあうみんなの地域づくり

歳末たすけあい運動

期間 12月1日から12月31日



募金総額 4,110,305円

今年も、12月1日から12月末まで、「つながりささえあうみんなの地域づくり」をスローガンに歳末たすけあい運動を実施しました。

市民の皆さまのご理解とあたたかいご協力により、寄せられた募金は、共同募金会を経由し、全額が綾部市社会福祉協議会に配分され、生活困窮世帯への支援や子どもや障害者、高齢者等の孤立を防ぐ活動や見守り、社会参加支援などさまざまな地域福祉活動に活用させていただきます。ありがとうございました。

活動を通じて、誰かに相談することが困難な方や、長年生活にゆとりがなく、厳しい生活を送っている方、社会との接点が少なく孤立状態にある方など、さまざまな問題が明らかになってきています。引き続き誰もが安心して暮らせる地域づくりに努めて参ります。



ありがとうメッセージ

大島西喜楽会(中筋)
「初めて餅つきをした!!とてもおいしかった」や「20年振りに餅つきをして懐かしく、おいしくいただきありがとう」の声を聞きスタッフがやりがいを感じます。



ありがとうメッセージ

高齢者サロン「むくろじ」(東八田)
高齢者と子ども達にその保護者、ボランティア総勢39名が集い、語り合いながら食事をし、ゲームで高齢者と子ども達が声をかけあい親交を深めました。



ありがとうメッセージ

第一区自治会(中上林)
8年目となった「餅つき大会」は一区自治会の恒例行事となりました。訪問した皆さんからも「いつも本当にありがとう」と感謝の言葉を頂き励みになります。



ありがとうメッセージ

わいわいカフェ(山家)
みんなで助け合いながら焼いたたこ焼きの味は格別!!脳トレ、ゲーム、合唱で体も心もほっこり。絆を強くすることができました。助成金のおかげです。



ありがとうメッセージ

豊里つれづれの会(豊里)
会長より助け合い募金の配分を受けた行事であることを紹介の後、腹話術を楽しみ、温かいぜんざいを頂きました。参加者一同笑顔と元気をもらいました。



ありがとうメッセージ

綾部市母子寡婦福祉会
皆さん、キャンドルづくりに興味がありました。地域を超えたお母さん方の情報交換と子どもたちの交流ができて楽しく過ごしました。



ありがとうメッセージ

つどい蔵ひろせ(山家)
男性も含め多くの方にご参加いただきました。市民の皆さんの温かい気持ちを頂戴したおかげで充実したクリスマス会となりました。

歳末たすけあい 公募による福祉活動助成事業

綾部市社会福祉協議会では、新たな年を迎える時期に行う、住民の支え合い・たすけあい活動を歳末たすけあい募金の配分を受け応援しています。今回は、申し込みのあった40団体に対して活動助成を行いました。ありがとうメッセージを紹介いたします。

サロンなかよし(障害)/サロン広楽(高齢)/絵手紙友の会(高齢)/月見元氣かい(高齢・児童)/あざみの会(高齢)/さつき会(高齢)/コミュニティサロン平尾(高齢・障害・児童)/サロン・あおの(高齢)/こぶしの里(高齢)/よついで公民館(高齢・児童)/高齢者サロン「弥仙」(高齢)/きみっこひろば(児童)/じゃんけんぼん(児童・保護者)/あい愛ルーム(高齢・児童)/味方Yがカフェ(高齢)/東山町老人クラブ(高齢・児童)/東神宮寺ふくしの会(高齢)/NPO法人ひとなす 風のこっこ(高齢・児童)/くちなしの会(高齢・障害・児童)/里福祉をすすめる会(高齢)/つくしの会(高齢)/佃町自治会

(高齢・児童)/NPO法人西八田ふれあいサロン(高齢・障害)/市志自治会(高齢・障害)/味方おしゃべりひろば(高齢)/さろん紫水の丘(高齢・障害)/別所おしゃべりカフェ(高齢)/いこいサロン(高齢・児童)/野田サロン(高齢)/チクチククラブ(高齢・障害)/あじさい広場(高齢・障害・児童)/忠町自治会(高齢・児童)/下市自治会(高齢・障害・児童)



講習プログラム

【1日目】

- ・わん★ぴーすを理解する
- ・生活困窮者自立支援制度と生活保護を理解する
- ・生活困窮を理解する

1日目は、生活困窮の捉え方を変えることを目的に、生活困窮状態の人は非常に多様であること、その一人ひとりの違いを理解しようとする、経済的な困窮だけでなく社会的孤立状態にあることなど、メンバーとの交流を通じて学びました。



生活保護制度を学ぶ

【2日目】

- ・事例から本人家族の思いを理解する
- ・事例から支援者の倫理価値を理解する
- ・支援窓口を理解し、支援者としてのかかわり方を学ぶ

2日目は相談事例をもとに、本人・家族目線で検討し、どのような関わり方が大切か意見交換を行い、子どもの居場所づくりに取り組む神内氏、障害相談にかかわる岩佐氏、就労支援に取り組む市村氏から活動紹介と心構えを学びました。



3人のパネラーから活動の説明を受ける

【3日目】

- ・「いばしょ」と「出番」を考える
- ・対人援助のための面接技法を学ぶ
- ・チャレンジシートを作成する

3日目は場所をサクラティエに移し、施設長の大槻氏から障害者の地域支援のあゆみやサクラティエで働く仲間の紹介、次いで対人援助にかかる面接技法を学び、最後にこれまでの学びから「チャレンジシート」を作成し、これからの活動へのアイデアを発表を行い終了しました。



コミュニケーション技術を体験

参加者の声

- 8050問題。若者の引きこもりが中高年になっても続き老いた親が心理的、経済的にも子を支えきれなくなっている深刻さ。
- 状況をまず知り、他人に関心をもつことが大切であると認識した。
- 1, 2, 3回の講座で全く知らない人とのつながりも出来て楽しい会でした。
- わん★ぴーすで学んだことをもう一歩掘り下げて話し合ってみたい。
- 知らないこともたくさん教えていただき、生活困窮の知識や生活困窮者への接し方も少し理解できた。地域のつながり合いが大切と思った。
- やはり10時間は長かった。いろいろな人とふれあえたのは嬉しかった。こんなに一生懸命受けたのはこれから先の糧になると思う。



わん★ぴーす



養成講座

なぜ、市民サポーターを養成するの？

少子高齢化、生活様式の多様化、地域のつながりの希薄化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。その中で、非正規労働者の増加、ニートと呼ばれる若年、ひきこもり、高齢者世帯、一人親世帯、傷病・障害者世帯など、多様な問題を抱え、将来の見通しがもてないなど、制度の狭間におかれた人が増えてきています。国も「生活困窮者自立支援制度」を全国でスタートさせましたが、なお、生活困窮に対する理解は乏しく、その人を支えるための受け皿も乏しい状況にあります。まずは生活困窮を理解し、応援していただく市民が増えてほしいという願いからはじめたものです。

わん★ぴーすの名前の由来は？

生活困窮状態にあっても、世界で欠かすことのできない1人(ワン)として大切にされ、平和(ピース)な暮らしを営めるように共に考え、応援しようという思いがあります。また、パズルのピースになぞらえて、個人の特性がつながり合うことで一人一人が大切にされる地域を創りたいという意味合いもあります。

「生活困窮」を理解し、「生活困窮」状態にある人や家族を支える市民サポーターが増えていくことを願い、今回初めて養成講座を開催し40名の参加がありました。この講座は、3日間10時間の内容で、講義だけでなく、演習も取り入れ受講者参加型の講習として行ってきました。今後、生活困窮をテーマに共に考え、できることから支援を充実させていきたいと考えています。



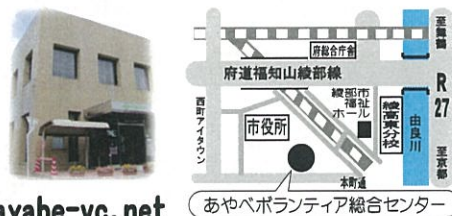
生活困窮者のための
「出番」と「いばしょ」づくりサポーターに40名が受講!!

あやべボランティア情報

Ayabe-Volunteer information

■ 開所時間：月～金 8:30～17:15
 ■ <http://www.ayabe-vc.net/> ■ E-mail:office@ayabe-vc.net

(問) あやべボランティア総合センター 綾部市本町二丁目14 TEL. 40-1388 FAX. 40-1389



『ボランティア保険』『まごころワイド(福祉事業者総合補償制度)』の更新手続きをお忘れなく

福祉の保険『ボランティア保険』『まごころワイド』は3月31日で満期となります。安心してボランティア活動やサロン活動を行っていたためには継続手続きが必要となりますので、早めの手続きをお願いします。なお、継続の場合でも保険期間は保険料振込日の翌日からとなりますのでご注意ください。また、『福祉行事保険』についても随時受付を行っております。現在加入されている保険の見直しを検討されている方や、これから活動を始められる方(団体)で、手続き等についてご不明な点などがありましたら、お気軽にセンターまでご相談ください。

喫茶シボラ ～地域の「いばしょ」づくり～

【主催】あやべボランティア総合センター障害者支援部会

平成30年度も「喫茶シボラ」(障がいの「シ」+ボランティアの「ボラ」)を開催します。

心あたたまる空間で、楽しく交流してみませんか? 皆さまのお越しをお待ちしています。

- ◆開催時間 13時00分～15時30分
- ◆参加費 100円
- ◆開催予定日/会場



あやべ作業所、
 からの里などの
 製品販売も予
 定しています。

4/9(月)	里山交流研修センター(鍛冶屋町)	10/10(水)	サクラティエ(青野町)
5/14(月)	志賀郷公民館(志賀郷町)	11/12(月)	寺町西公会堂(寺町)
6/18(月)	農村婦人の家(岡安町)	12/10(月)	高津公会堂(高津町)
7/9(月)	林業者等健康管理センター(故屋岡町)	1/21(月)	ありおか会館(有岡町)
8/20(月)	たからの里(睦合町)	2/18(月)	あやべハートセンター(本町)
9/10(月)	あやべ作業所(物部町)	3/11(月)	東山公民館(東山町)

小さなアースデイ in 里山ねっと・あやべ2018 駐車場誘導のボランティア募集

- 発信元 小さなアースデイ実行委員会
- 連絡先 earthday@ayabe.jp.org
- 活動日時 4月21日(土) 8時～13時もしくは12時～17時
- 活動内容 駐車場の誘導
- 活動場所 里山ねっと・あやべ周辺(鍛冶屋町)
- 申込締切 4月15日(日)
- コメント 昼食支給あり。みなさまのご協力をお待ちしています。



任意理工株式会社 / 株式会社任意理工ホーステックス
 ゆめ まち ひと
夢・街・人づくり助成金事業

介護者家族教室

(1/10:保健福祉センター)

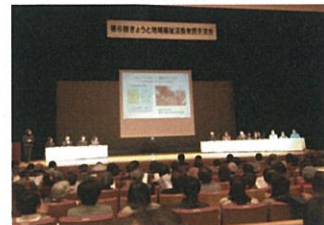


おむつのあて方を実演

介護者家族教室は、介護のコツを学び介護する家族同士の交流の機会づくりを目的に毎月開催しています。1月は「知って得する。排泄ケアの工夫」と題して、排泄用具の情報館むつき庵代表の浜田きよこ氏から、排泄の基本を学び、おむつの種類や使用方法など、実演も交えての教室となりました。排泄ケアは本人にとっても家族にとっても負担が大きく、参加者にとっても多くの学びのある教室となりました。

きょうと地域福祉活動実践交流会

(2/17:長岡京記念文化会館)



全体会の様子

「地域福祉×住民力(協働) 地域共生社会の実現に向けて」をテーマに、6回目となる実践交流会が開催されました。綾部市福祉推進組織連絡協議会の研修と位置付け、21名が参加しました。NHKドラマ「サイレントプア」のモデルとなった豊中市社協の勝部氏の講演や乙訓地域の実践報告など、気づきや学びの多い交流会となりました。

くつろぎ移動足湯

(1～2月:市内21か所)



心も体もポカポカ(下八田公会堂で)

綾部市社会福祉協議会では、高齢者や障害者の出前型相談、孤立しがちな方へのサロン参加促進など、地域福祉活動の活性化を目的に、「くつろぎ移動足湯」を行っています。足湯ボランティア(湯～サポ)と訪問入浴介護事業所の協力のもと、依頼に基づいて出前しているもので、特に、冬場は多くの依頼をいただいております。「心もあたたまる!」「ほっこりしたわー」など、たくさんの喜びの声を聞かせていただいております。

介護者家族教室

家族交流会は毎回予定しています



介護者家族教室は、介護をしている家族の方を対象に、介護のコツを学ぶとともに、介護する家族同士の交流の機会づくりとして、綾部市と綾部市社会福祉協議会、各地域包括支援センターで企画をし、毎月開催をしています。介護に悩んでいる方、もう少し上手に介護をしたいという方、ほかの人の介護体験を聞きたいという方など、ぜひお気軽にご参加ください。(参加費無料)

日程	場所	内容	講師
4月25日(水) 12時～14時	保健福祉センター (青野町)	介護をする人のための健康管理 ～ほっとひとときランチ交流会～	綾部市福祉保健部 保健推進課 保健師
5月15日(火) 13時半～15時半	ふれあいの家 (栗町)	作ってみよう手軽に!早く!美 味しい介護食	松寿苑 管理栄養士 盛香枝氏

(問) 綾部市高齢者支援課 (42-4262) 綾部市社会福祉協議会 (43-2881)

社協スクリーンづくり